

お客様保存用【重要】



取扱説明書

(設置工事要領書別途)

製品型式

KJO-800AH-B

KJO-2000AH-B KJO-2000AEX -B

KJO-3500AH-B KJO-3500AEX -B

KJO-5500AH-B KJO-5500AEX -B

- この度はサイエンス製品をお求め頂きまして、誠に有難う御座います。
この説明書を良くお読みになって、安全に正しくご使用ください。
- いつでも見られるように、取扱説明書は大切に保管してください。
- お客様は内容を良くお確かめ頂き記入の上、保証書控えの返却をお願い致します。

浴槽水の衛生管理について

厚生労働省『公衆浴場における衛生等管理要領等の改正について』（生食発 0919 第 8 号令 和元年 9 月 19 日）の内容を基にまとめました。

レジオネラ属菌は常在菌であり混入経路もさまざまです。レジオネラ属菌はバイオフィルム（微生物膜）の中で増殖するため、ろ過装置・ろ過系統配管内に定着するバイオフィルムを除去する事がレジオネラ属菌の発生を防ぐ有効な対策です。

規定値である 10cfu/100ml 未満(不検出) を維持するために下記内容を十分にご理解の上、維持管理に努めていただけますようお願いいたします。

－記－

1) 浴槽水塩素管理

毎日必ず実施

浴槽水の遊離残留塩素濃度を 0.4mg/L 程度に保ち 1.0mg/L を超えないよう努める。

推奨遊離残留塩素濃度 管理値 0.4～1.0 mg/L (自主基準)

残留塩素の測定は、比色法（D P D 法）を推奨。「日付・時間・塩素剤投入量・遊離残留塩素濃度・測定者」等の管理記録を 3 年以上保存。

塩素投入方法

① 素錠剤・顆粒を直接浴槽に投入する方法

毎日塩素剤を直接浴槽に投入し、約 2 時間後に遊離残留塩素濃度を測定し記録

[特徴]

- ・ 安価
- ・ 浴槽に直接投入作業が必要
- ・ 遊離残留塩素濃度の調整（投入量・時間）が難しい

② 自動薬液注入器によりろ過系統配管へ自動注入する方法

薬液注入装置により自動的に塩素を注入

毎日同時刻に遊離残留塩素濃度を測定し記録

[特徴]

- ・ 自動的に塩素を注入
- ・ 薬液タンクへの薬液補充
- ・ 遊離残留塩素濃度の調整が比較的簡単

- ・ 日常点検（薬液残量、エアー抜き作業）が必要
- ・ 専門業者による定期的な点検（薬液注入口詰まり、薬液注入ポンプ動作等）が必要

2) 浴槽水の換水

1週間に1回以上必ず実施

浴槽水の交換と浴槽の洗浄を実施

3) ヘアークッチャーの清掃・消毒

毎日必ず実施

ヘアークッチャーの清掃・消毒を実施

4) 浴槽に湯水がある時は、ろ過装置及び自動薬液注入器を常に作動させる

5) ろ過装置の保守メンテナンス

定期保守メンテナンス契約

定期的な保守メンテナンス（ろ過材の確認、機器の動作確認、塩素等の殺菌装置の点検 等）

6) ろ過装置及びろ過系統配管内の消毒（バイオフィーム除去）

1年に1回以上実施

- ・ レジオネラ属菌の温床となるバイオフィームを除去する目的で、ろ過系統配管内を1年間に1回の洗浄、消毒が必要
- ※配管洗浄剤は劇薬のため専門業者による作業が必要です。

7) 水質検査（レジオネラ属菌・大腸菌群・過マンガン酸カリウム消費量・濁度）

- ・ 塩素殺菌を実施している場合

1年間に2回以上 水質検査実施

- ・ 塩素殺菌を実施し、浴槽水を毎日交換している場合

1年間に1回以上 水質検査実施

- ・ 塩素殺菌以外の殺菌装置で実施している場合

1年間に4回以上 水質検査実施

保守メンテナンス等の作業書、遊離残留塩素の記録、水質検査結果 等の記録は
3年以上保存願います。

以上

目 次

必ずお読みください

安全上のご注意	1～3
基本設定・メンテナンス方法	4
各部の名称	5～8
本体周辺	5
コントローラー	6～8
はじめてお使いになるとき	9

すぐ使いたいとき

運転をする	10
日時を合わせる	11
温度を設定する	12

もっと使いこなしたいとき

入浴時間を設定する	13～15
上手にお使いいただくために	16～21
ジェット	16
入浴タイマー	16
フィルターの交換時期の設定	17～18
オゾン時間の設定	19
滅菌時間の設定方法	20
エラー表示	21

もし必要なとき

点検とお手入れ	22～34
フィルターの交換方法と活性石の洗浄方法	22～23
浴槽水を交換する場合	24～25
ヘアーキャッチャーの清掃方法	26～28
塩素薬注器エアーの抜き方	29
残留塩素記録票	30
故障かな？	31
仕様	32
定期点検のお勧め	33～34
保証とアフターサービス	35

安全上のご注意

この取扱説明書は、お客様や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

-  **警告：** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意：** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い：** この表示は機械を適正に作動させるために必要な内容を示しています。

警 告

- 本体電装部に水がかかった場合やこげ臭いなどの異常があった場合は本体の電源ブレーカーを『切』にし販売店にご相談ください。なお本体の電源ブレーカーを『切』にする場合は、感電に注意し配電盤のブレーカーを先に切ってから本体の電源ブレーカーを『切』にしてください。
- 本体アースの接続を確認してください。また、アースは絶対にはずさないでください。感電の恐れがあります。
(D 種接地工事 必要)
- 本体を改造したり、別の機器を接続したりしないでください。火災・漏電の恐れがあります。
- 本体の設置は「設置工事要領書」に従って確実に行なってください。また、電気工事が必要な場合は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。配線等に不備があると漏電や火災の恐れがあります。
- 本体を傾けたり倒したり、本体の上に重いものを乗せたりしないでください。火災・感電の恐れがあります。
- 燃えやすい物を本体に乗せたり、近づけたりしないでください。火災・感電の恐れがあります。
- 濡れた手で電装品を触らないでください。感電の恐れがあります。
- 使用する前には必ず本体の各部に異常がないことを確認してください。また、各部に亀裂、破損、へこみ、まがり、ゆがみが生じた場合には使用しないでください。
- 浴槽水にはもぐらないでください。また、付属のノズルを使用している場合、吸込み防止ノズルカバーは外さないでください。髪の毛が吸込まれたり、おぼれたりして事故につながる恐れがあります。
- 浴槽の水はシャワーに使用しないでください。
- 入浴前に必ず湯かげんを確かめてください。やけどの恐れがあります。
- 浴槽や本体の清掃(フィルターの交換と活性石の洗浄)をする場合は、必ず「取扱説明書」に従って本体の電源ブレーカーを『切』にしてください。火災・感電の恐れがあります。
- 小さなお子様が入浴される場合は浴槽に落ちないように特に注意してください。
また、小さなお子様だけでの入浴を避け、必ず大人の方が一緒に入浴してください。
- ご使用にあたっては年齢・体質・体調を考慮して温度・入浴時間・ジェットの設定を行なってください。

- 浴槽水は飲料ではありません。飲まないでください。
- 次の方は入浴しないでください。
 - ・医師より入浴を禁じられている方。
 - ・飲酒後または酒気を帯びている方。
 - ・体力の弱っている方、体調の悪い方。
- 次の場合においては医師に相談し、指示に従ってください。
 - ・妊産婦 ・疾病を患っている方(伝染病等)
 - ・体調の悪い方 ・体力の弱っている方

注 意

- コントローラーには直接水をかけないでください。故障の原因になることがあります。
- お風呂の沸かしすぎに注意してください。給湯器などによる加温で必要以上に熱くすると、故障の原因になることがあります。
- ご使用により皮膚に異常を感じた場合、あるいはその他疾患がある方は専門医にご相談ください。
- 雷雨時は本体の電源ブレーカーを『切』にしてください。故障の原因となることがあります。
- カルシウム等硬度成分を含んだ水質によっては、フィルターの寿命の低下・循環ポンプの故障の原因となる場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 浴槽内で入浴剤、温泉水、硫黄成分、酸性、アルカリ性の強いものや石鹼などを使用しないでください。浄化不良や循環ポンプ等の故障の原因となります。また、浴槽にタオル等を入れますと濁りの原因になります。
- 循環口をタオルや手、足などでふさがないでください。故障の原因となる場合があります。
- 運転中にフィルタータンクのふたを外さないでください。空運転状態となり事故や故障の原因になります。
- 本体のヒーターは浴槽水を保温するもので、追焚機能はありません。短時間で湯温を上げたい場合は、追い炊きまたはさし湯してください。
- 浴槽の中にぬめりが発生した場合、入浴後スポンジ等のやわらかい物でぬめりを落としてください。
- フィルター及び消耗部品は弊社純正品を使用し、再利用はしないでください。故障の原因になります。
- 温泉で使用する場合は、成分表を提示してください。
- 井水を使用する場合は、鉄分・カルシウム等のスケール因子の物質を除去してください。
- 電気伝導率が低くなる高純度ろ過水(純水等)を使用する場合は、安全装置が働かない場合があります空焚き運転による火災事故につながる恐れがあります。ご使用する場合は別途ご相談ください。

お願い

- 使用開始時、浴槽水が白濁することがあります。気になる場合は、浴槽水を交換してください。
- 浴槽のフチに喫水線がつくことがありますので、スポンジ等の柔らかい物で汚れを落としてください。
- 直射日光が長時間当たると、藻が生える場合があります。人体には影響はありませんが、気になる場合はスポンジ等の柔らかい物で付着物を取り除いてください。
- 寒冷地・冬季のご使用は予約運転を早めにセットしてください。
- 浴槽水の水質維持のため8時間以上の予約運転をセットしてください。
- 浴槽水交換は、1週間に1回以上行なってください。（入浴人数・使用頻度によって異なります）
- 浴槽水面が吐出ノズルより上になるように、お湯を張ってください。
- フィルターは消耗品のため、定期的に交換してください。交換については販売店にご相談ください。
- 薬を常時服用されている方やアトピー性皮膚炎の方などが入浴する場合、フィルターやろ過材の洗浄交換の時期が通常より早まることがあります。
- 浴槽水に浮いているゴミはろ過しないため、あふれさせるか、網等で取り除いてください。

基本設定・メンテナンス方法

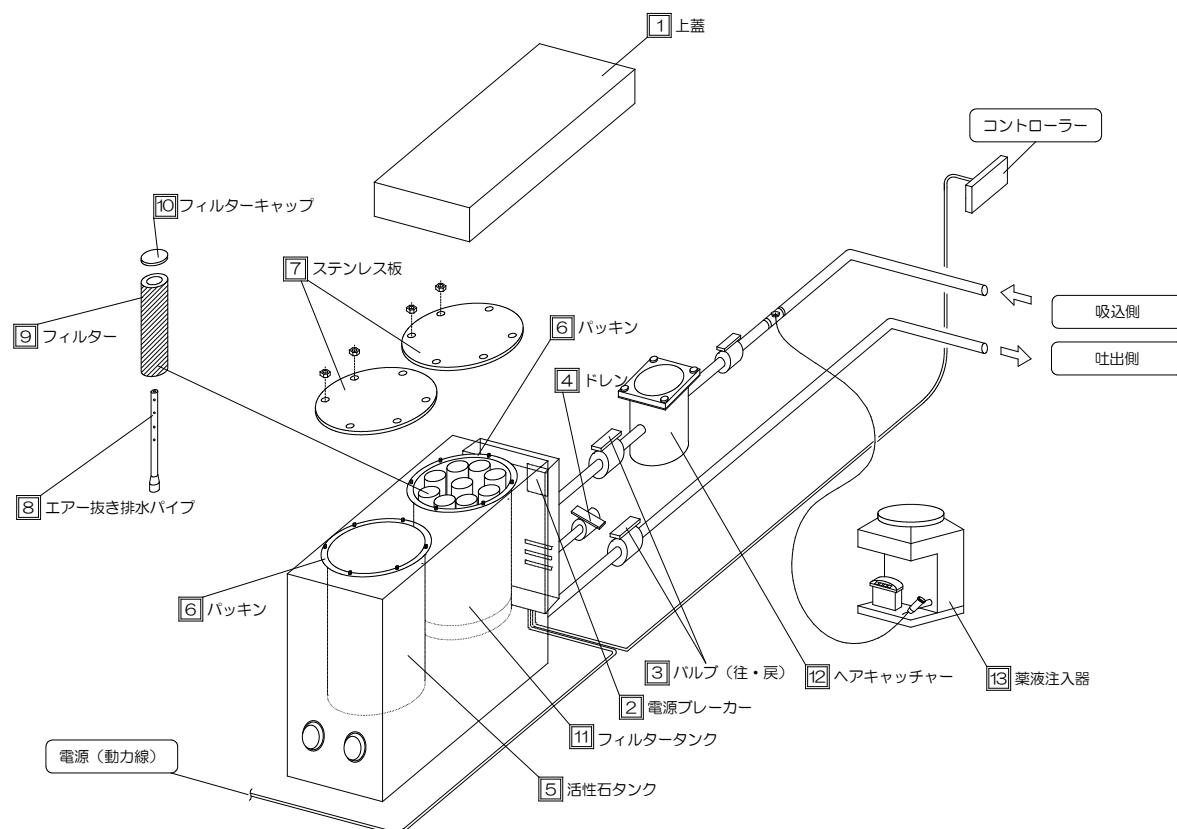
重 要

必ずお読みください。

項 目	内 容	参照箇所
① 入浴時間の基本設定	1 日 8 時間以上の予約設定をお願いします。	 P.13 入浴時間の予約設定
② オゾン時間の 基本設定(初期設定)	10 分 (標準) ※入浴人数によって調整してください。	 P.19 オゾン時間の設定
③ 滅菌時間の 基本設定(初期設定)	10 分 (標準) ※入浴人数によって調整してください。	 P.20 滅菌時間の設定
④ フィルターの交換	定期的なフィルターの交換が必要です。 KJO-800 500L×7 本 KJO-2000 500L×9 本 KJO-3500 500L×12 本 KJO-5500 500L×19 本 ※入浴人数により交換頻度が異なります。	 P.17 フィルターの交換方法
⑤ 浴槽水の交換方法	浴槽水交換は、1 週間に 1 回以上行なってください。 (入浴人数・使用頻度によって異なります)	 P.24 浴槽水の交換方法
⑥ 定期メンテナンス	安全で快適にご使用頂くためには、 専門技術者による点検が必要です。	保守メンテナンス契約を 是非ご利用ください

各部の名称 <本体周辺>

○ 本体まわり各部名称



安全装置について

電源ブレーカー

何らかの原因で漏電した場合に電源ブレーカーが『切』になり、電気回路を遮断する装置です。この装置が作動したときは 2～3 回入/切して様子を見てください。その後、また電源ブレーカーが『切』になった場合は、機器の点検が必要になりますので販売店へご連絡ください。

空転防止装置(空運転防止装置)

本体フィルタータンク内にお湯(または水)が入っていない場合に、エラー表示としてコントローラー液晶表示画面の時計表示が「E1」表示され、運転が停止します。

過熱防止装置

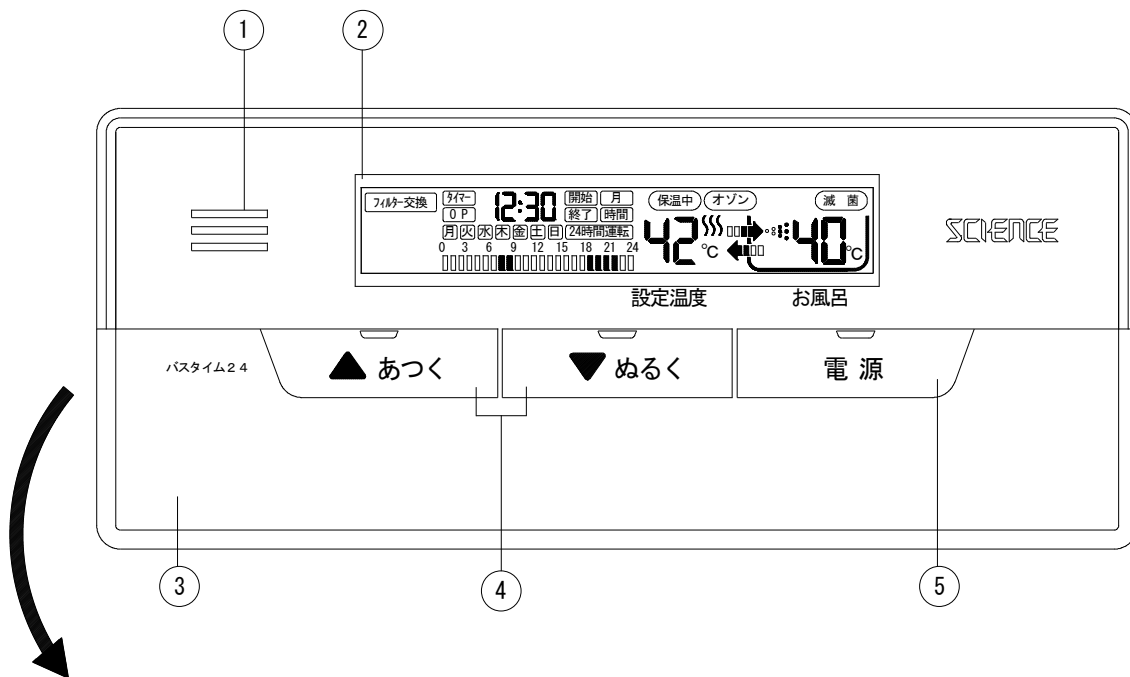
何らかの原因でお湯が高温になった場合に、コントローラー液晶表示画面の入浴温度表示が全点滅、及びコントローラー液晶表示画面の時計表示が「E3」または「E4」とエラー表示されます。

アース

何らかの原因で漏電した場合に、電気を地面に逃がし感電を防ぐ安全装置です。(D 種接地工事)

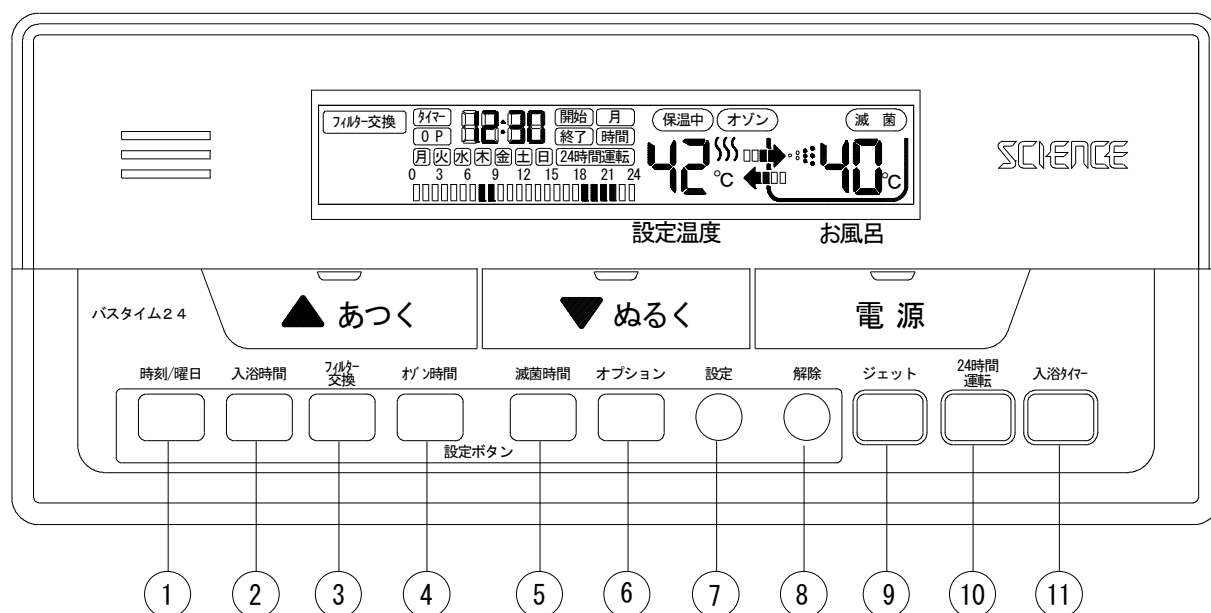
各部の名称 <コントローラー>

コントローラー外観



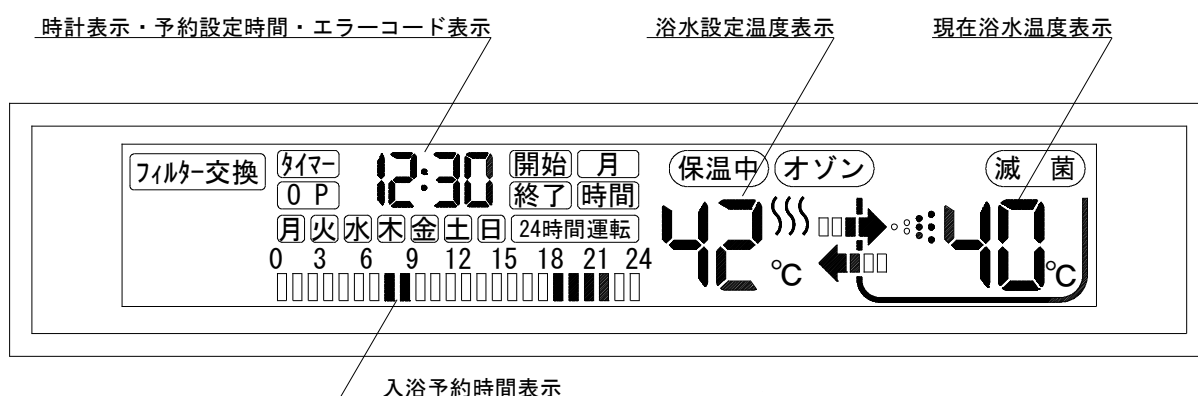
名称	機能
① スピーカー	操作音やお知らせ音が鳴ります
② 液晶画面	時刻や浴槽水温度、設定、エラー等を表示します(バックライト機能)
③ 操作パネル蓋	下側に開くと、操作部が現れます
④ ▲あつく・▼ぬるく ボタン	【入浴温度】【入浴時間予約】【時計】の設定を行います
⑤ 電源 ボタン	電源の入/切を行います

コントローラー操作部



名称	次の設定ができます
① 時刻/曜日ボタン	現在時刻と曜日の設定をします
② 入浴時間ボタン	入浴したい曜日と時間を予約設定します
③ フィルター交換ボタン	フィルター交換時期(周期)を設定します
④ オゾン時間ボタン	オゾン時間を設定します
⑤ 滅菌時間ボタン	塩素薬液注入装置をオプションで取り付けた場合に設定します
⑥ オプションボタン	オプションを取り付けた場合に設定します
⑦ 設定ボタン	各種設定を確定したい時に使います
⑧ 解除ボタン	設定途中で解除したい時に使います
⑨ ジェットボタン ※オプションノズル使用時	浴槽内に気泡を発生させるジェット機能を ON/OFF します
⑩ 24 時間運転ボタン	24時間連続運転に設定します
⑪ 入浴タイマーボタン	入浴時間のカウントダウンタイマーを設定します

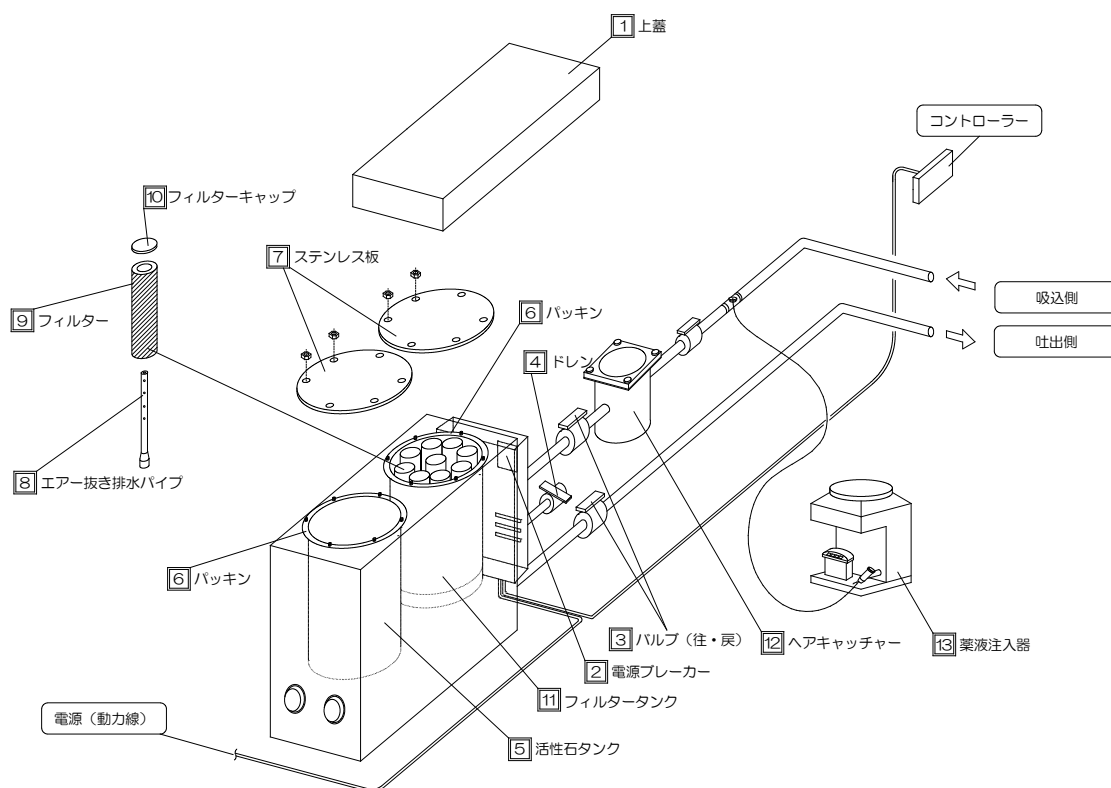
液晶画面の見方



表示	内容
タイマー	入浴時間の予約設定中に点灯します
OP(オプション)	オプションを取り付けた場合に点灯されます
開始	入浴時間の予約設定開始時に点滅します
終了	入浴時間の予約設定終了時に点滅します
月	フィルター交換時期の【月】設定時に点滅します
時間	入浴時間予約の【時間】設定時に点滅します
保温中	浴槽水の加熱中に点灯します
オゾン	オゾン殺菌中に点灯します
滅菌	薬液注入装置(オプション)が作動している場合に点灯します
24時間運転	24時間運転中に点灯します
月・火・水・木・金・土・日	入浴時間設定の【曜日】設定時に点滅します
フィルター交換	フィルター交換時期に点灯します。フィルター交換時期の設定中は点滅します
〰〰〰	浴槽水の加熱中に点灯します
○●●●●	ジェット運転中に表示が動きます
⚙	循環運転中(ポンプ作動中)に表示が動きます
エラーコード	安全装置が働いた時「E1」～「E5」が表示され LED ランプが点灯します

はじめてお使いになるとき

はじめてお使いになるときは販売店(工事店)に下記のことが実施されているかご確認ください



1 バルブの開閉の確認

- ・ ドレンバルブ … 閉
- ・ 循環バルブ … 閉

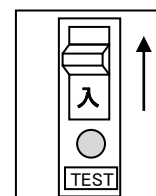
2 浴槽にお湯をはる

3 本体の上蓋を開けフィルタータンク/活性炭タンクに水またはお湯を満水にする ※満水にしないと、運転が停止します

4 浴槽にお湯をはり終わったら、循環バルブを開ける

5 本体の電源ブレーカーを【入】にする

電源ブレーカー



6 コントローラーの電源ボタンを押し運転 (詳細は 10 ページ)

7 コントローラーの初期設定をする (詳細は 11 ページより)

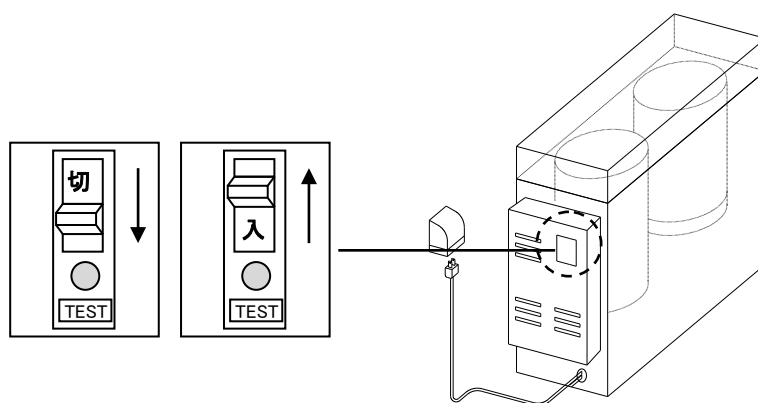
運転をする <運転・停止>

《運転》

運転する前に必ず前頁の項目が実施されているか確認してください。(詳細は  9 ページ)

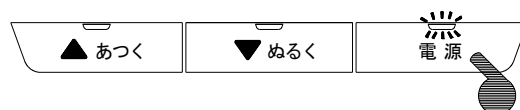
1 本体の電源ブレーカーを【入】にする

コントローラーに時間が表示されます。



2 コントローラーの電源ボタンを押す

黄緑色のランプが点灯します。※予約運転時間外は運転しません。

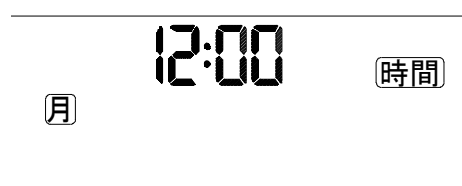


《停止》

1 コントローラーの電源ボタンを長押し(2 秒間)

2 コントローラーの電源ボタンのランプが消灯し、停止

時間が表示されます。



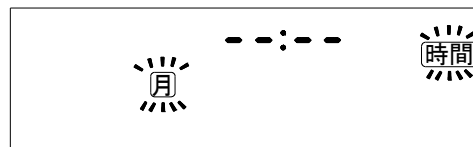
日時を合わせる

現在時刻／曜日設定

現在時刻と曜日の設定をします。

1 **時刻/曜日** ボタンを押す

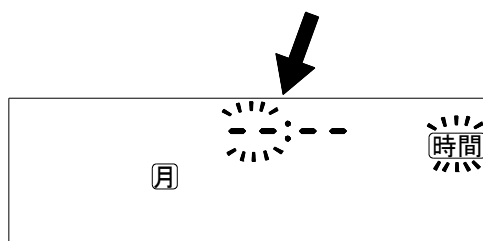
液晶画面表示に『曜日』と『時間』の部分点滅します。



2 **▲あつく** ボタンまたは **▼ぬるく** ボタンを押す、曜日を合わせる

3 **設定** ボタンで確定

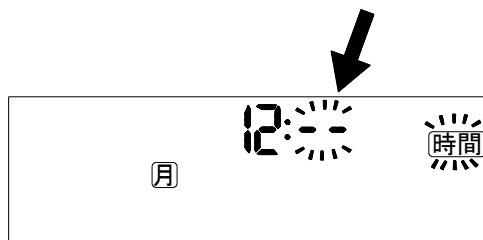
液晶画面表示の『時』が点滅します。



4 **▲あつく** ボタンまたは **▼ぬるく** ボタンを押す、現在の時刻「時」を合わせる

5 **設定** ボタンで確定

液晶画面表示の『分』が点滅します。



6 **▲あつく** ボタンまたは **▼ぬるく** ボタンを押す、現在の時刻「分」を合わせる

7 **設定** ボタンで確定

(**解除** ボタンで途中キャンセルできます。)

注 意

※操作中に、15 秒間以上放置すると初期設定に戻ります。

※**▲あつく** ボタンまたは **▼ぬるく** ボタンを長押しすると数字が連続して進みます。

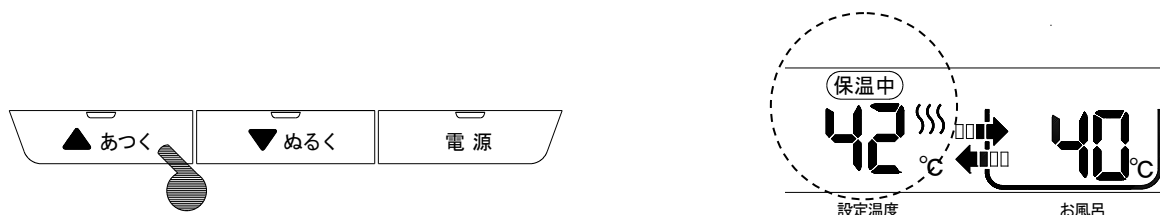
※本体の電源ブレーカーを 24 時間以上切ると初期設定に戻る場合があります。

温度を設定する

温度設定

入浴時間内の浴槽水の温度を設定します。36～45℃の範囲で1℃きざみで設定ができます。

▲あつく ボタンまたは **▼ぬるく** ボタンを押し、温度を調整する



(℃)											
設定温度	OF	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
1℃きざみで設定ができます											

注 意

※入浴温度設定は、36～45℃までの設定となります。

※ヒーターは保温用のため、温度を上げるのに時間がかかります。

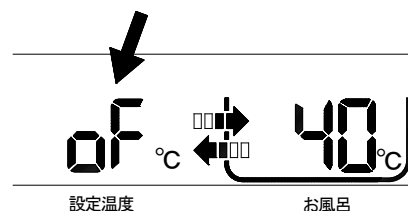
※設定温度より現在温度が低い場合、と **保温中** が点灯します。

保温停止

長期間おでかけをする際などに使用してください。

▼ぬるく ボタンを押し設定温度を 36℃より下げる

設定温度の表示が『OF』になり、保温運転を停止します。



注 意

※入浴時間の予約に関係なく、保温運転を中止します。

※ヒーターを『OF』にして、浴槽水の温度が下がると、すぐには温まりません。

※夏季は外気温が高くなると、本体内部が熱くなり、浴槽水の温度が高くなる場合があります。その時には、ヒーターを『OF』にすることをお勧めします。

入浴時間を設定する

(24 時間運転、予約運転が選べます)

24 時間運転設定

液晶画面表示に『24 時間運転』が点灯します



再度 **24 時間運転** ボタンを押すと予約運転に切り替わります

予約運転設定方法（詳細は  14 ページ）



入浴時間の予約運転設定

曜日ごとに入浴したい時間を予約できます

予約設定のおぼえがき

設定する前に予約時間のおぼえがきとして
記入してから予約時間を設定すると便利です

	第1予約	第2予約
月	: ~ :	: ~ :
火	: ~ :	: ~ :
水	: ~ :	: ~ :
木	: ~ :	: ~ :
金	: ~ :	: ~ :
土	: ~ :	: ~ :
日	: ~ :	: ~ :

1 入浴時間ボタンを押す

液晶画面表示に『タイマー』と『曜日』の部分が点滅します。

2 ▲あつく ボタンまたは▼ぬるく ボタンで、曜日を選択し設定ボタンで確定

※1 週間同じ時間設定にする場合、▼ぬるく ボタンを 1 回押すと月～日曜日を一括で設定することができます

3 曜日の設定後、▲あつく ボタンまたは▼ぬるく ボタンを押し、入浴開始設定時間を合わせ 設定ボタンで確定

4 ▲あつく ボタンまたは▼ぬるく ボタンを押し、入浴終了設定時間を合わせる

5 設定ボタンで確定(設定後、解除ボタンで途中キャンセルできます)

6 ※予約運転時間を複数入力する場合、5の設定後3～5を繰り返してください

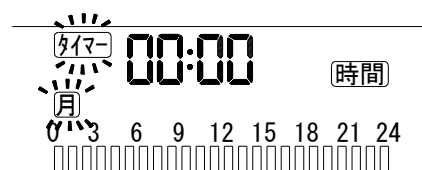
7 予約時間設定後 入浴時間ボタンで確定

例：月曜日の 6:00～9:00 と 17:00～24:00 に設定する場合

※8 時間以上は、運転予約設定をしてください

1 **入浴時間** ボタンを押す

液晶画面表示に『タイマー』と『曜日』の部分が点滅します。



2 **▲あつく** ボタンを押し、月曜日を設定

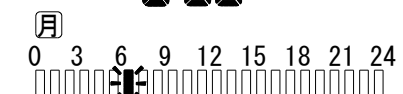
設定ボタン後 6:00 に合わせてください。

予約運転表示のバーが 6:00～7:00 で点滅します。



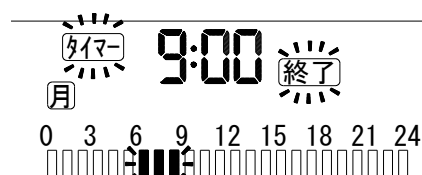
3 **設定** ボタンを押す

開始時間 6:00 が設定されます。



4 **▲あつく** ボタンを押し、終了時間を 9:00 に合わせる

予約運転表示のバーが 6:00～9:00 で点滅します。



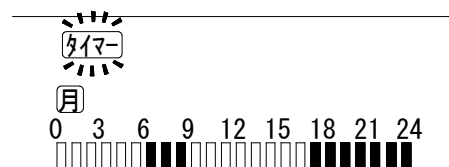
5 **設定** ボタンを押す

予約時間が設定されます



6 引き続き 17:00～24:00 は上記(2)～(5)を繰り返す

7 最後に**入浴時間** ボタンを押し予約運転を設定



注 意

※予約運転時間外でも保温機能により本体が運転します。

※予約運転時間外に入浴する場合は、24 時間運転設定(P.13)をご使用ください。

●予約運転の確認のしかた

入浴時間 ボタンを押し **▲あつく** ボタンで、曜日ごとの設定を確認してください。

解除 ボタンでもどります

上手にお使いいただくために

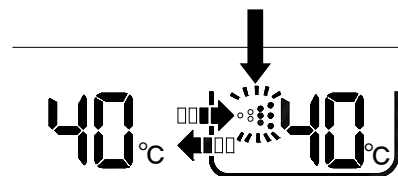
ジェット（オプションノズル使用時に使用できます。）

浴槽内に気泡を発生させます。

《運転》

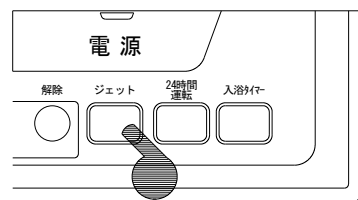
ジェットボタンを押す

※20 分間で自動停止します。



《停止》

再度**ジェット**ボタンを押す



入浴タイマー

入浴時間のカウントダウンタイマーです。半身浴等にご利用ください。

5 分/10 分/15 分/20 分/25 分/30 分が選択できます。カウントが終了すると、お知らせ音になります。

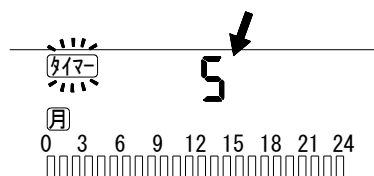
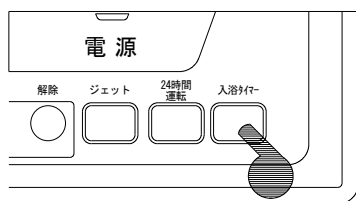
《運転》

入浴タイマーボタンを長押し

5 分⇒10 分⇒15 分⇒20 分⇒25 分⇒30 分⇒5 分と切り替わります。

ボタンを離し 2 秒間放置すると設定したタイマーのカウントダウンが開始します。

カウントダウン中に**入浴タイマー**ボタンを押すとキャンセルされます。



フィルター 交換時期の設定

フィルター交換時期(周期)を設定します。交換時期になると、液晶画面にお知らせを表示します。

※運転積算時間で表示します1ヶ月単位で、1ヶ月～24ヶ月設定できます。

設定における注意点

1ヵ月を30日 1日を24時間でカウントを行い、フィルター交換の表示をします。

フィルター交換は装置の運転時間の積算時間で表示をします。

交換目安を参考にして、運転時間に応じて設定を行なってください。

交換設定目安

フィルター交換時期目安 12ヶ月 (入浴人数による)

例)

運転予約を月～日曜日 6:00～9:00, 17:00～24:00(1日合計10時間運転)、オゾン運転の時間設定10分(初期設定)で設定した場合

●フィルター交換 設定 交換目安12ヵ月(1年間)

(運転時間の計算方法)

予約時間(入浴時間) 10時間 × 60分 = 600分

予約時間外14時間 × オゾン運転時間設定 10分 = 140分

1日合計運転時間 = 740分

年間合計運転時間 = 740分 × 365日 = 270,100分

年間合計運転時間 270,100分 ÷ (30日 × 24時間 × 60分) = 6.25ヵ月

フィルター交換設定は「6ヵ月」(小数点以下切り捨て)で設定してください。

※定期保守点検時にフィルター交換は実施いたします。

注 意

積算時間のカウントは『フィルター交換』表示がされて、解除された際にリセットされます。

フィルター交換時期設定時間 参考表(オゾン運転時間設定10分※初期設定)

運転時間(例)	交換時期の設定時間
毎日8～9時間	5 回
毎日10～11時間	6 回
毎日12～14時間	7 回
毎日15～16時間	8 回
毎日17～18時間	9 回
毎日19～21時間	10 回
毎日22～23時間	11 回
毎日24時間運転	12 回

注 意

予約運転を曜日毎に異なる運転時間に設定した場合は、設定時間を変更してください。

【設定】

1 フィルター交換ボタンを長押し(2秒間)

液晶画面表示に『フィルター交換』が点滅します。



2 ▲あつく ボタンまたは▼ぬるく ボタンを押し、フィルター交換月を合わせる

3 設定ボタンで確定

フィルター交換のお知らせ表示を解除する方法

フィルター交換時期を設定後、交換時期になると、液晶画面にお知らせを表示します。

【お知らせ表示】



【解除方法】

フィルター交換表示が出たらフィルター交換後・・・

1 フィルター交換ボタンを長押し(2秒間)

液晶画面表示に『フィルター交換』が点滅します。



2 再度フィルター交換ボタンを長押し(2秒間)

解除になります。



注 意

フィルター交換表示を解除する場合は、フィルター交換を実施した後に必ず行なってください。

オゾン時間の設定

オゾン時間の設定をします。

オゾンは、常にクリーンな浴水を維持するために必要となります。オゾン時間を変更することにより、脱臭・殺菌を調整することができます。

◎初期設定は、オゾン運転時間が 10 分間/時に設定されています。

◎浴槽水に異臭を感じた場合はオゾン運転の時間を長く設定してください。(目安 2 分延長)

●オゾン時間設定

ヒッ

1 **オゾン時間** ボタンを長押し(2秒間)

2 **▲あつく** ボタンまたは **▼ぬるく** ボタンを押し、オゾン時間を設定

※必ず 10 分以上の設定をしてください。(初期設定は 10 分となります)

3 **設定** ボタンで確定

エラー表示

安全装置が働いた場合、コントローラーの液晶に『E1』～『E5』の表示をして、LED ランプが点滅します。

エラー内容を確認し、対応後に**解除**ボタンを長押し(2 秒間)し、正常運転に復帰します。

注意:エラー**解除** を押しても再度表示される場合は、販売店へご連絡ください。

滅菌時間の設定方法

塩素薬液注入装置をオプションで取り付けた場合に設定します。

●滅菌時間設定

1. **滅菌時間** ボタンを長押し(2秒間) 
2. **▲あつく** ボタンまたは **▼ぬるく** ボタンを押し、滅菌時間を設定
※初期設定は 10 分となります。
3. **設定** ボタンで確定

●滅菌動作時間設定

1. **滅菌時間** ボタンを長押し(3秒間)  
※滅菌時間が表示されても、押し続けてください。
2. **▲あつく** ボタンまたは **▼ぬるく** ボタンを押し、曜日を設定
【ポイント】 一週間同じ時間設定にする場合、**▲ぬるく** ボタンを 1 回押して月曜日～日曜日を全部点滅させて、**設定** ボタンを押してください。
3. **設定** ボタンで確定します。
4. **▲あつく** ボタンまたは **▼ぬるく** ボタンを押し、開始時間を設定し、**設定** ボタンで確定
5. 次に、**▲あつく** ボタンまたは **▼ぬるく** ボタンを押し、終了時間を設定し、**設定** ボタンで確定
6. 設定後、**滅菌時間** ボタンで設定を確定

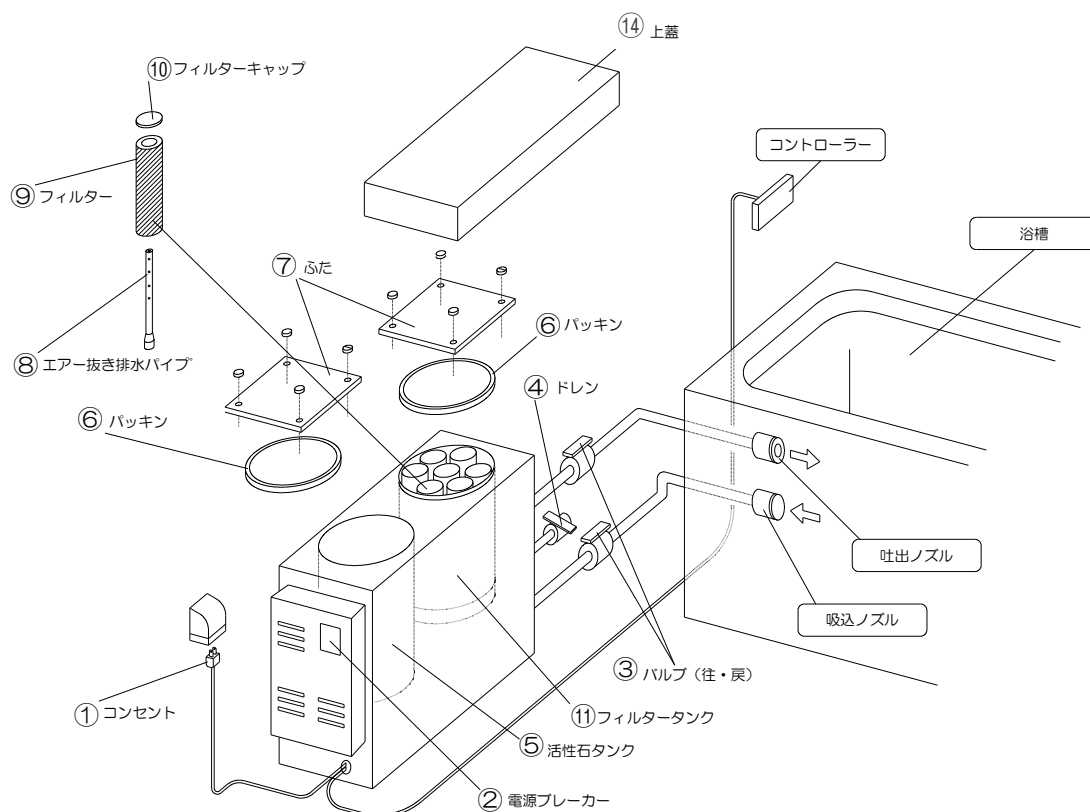
エラー表示

安全装置が働いた場合、コントローラーの液晶に『E1』～『E5』の表示をして、LED ランプが点滅します。

エラー内容を確認し、対応後に解除ボタンを長押し(2 秒間)し、正常運転に復帰します。

注意: エラー解除 を押しても再度表示される場合は、販売店へご連絡ください。

フィルターの交換方法と活性炭石の洗浄方法



○ フィルター交換の目安

3 ヶ月～1 年で交換してください。入浴人数により異なりますのでご相談ください。

- | | |
|------------|----------------------|
| ● KJO-800 | フィルター本数: 500L × 7 本 |
| ● KJO-2000 | フィルター本数: 500L × 9 本 |
| ● KJO-3500 | フィルター本数: 500L × 12 本 |
| ● KJO-5500 | フィルター本数: 500L × 19 本 |

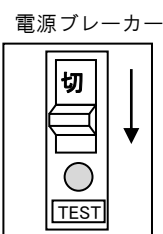
※交換用フィルターは販売店でお求めください。

● フィルター交換手順

1 本体の電源ブレーカーを【切】にして電源を落とす

2 本体横の循環配管バルブ(往、戻)③を2個閉める

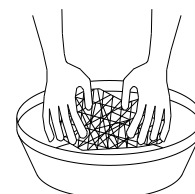
3 フィルタータンクと活性炭石タンクのふた⑦をはずし、ドレンバルブ④を開けてタンク内の水を抜く



- 4 フィルター⑨、フィルターキャップ⑩及びエアー抜き排水パイプ⑧を抜き取る
※フィルターキャップは洗って使用頂けます。

- 5 エアー抜き排水パイプ⑧パッキン⑥フィルターと活性炭のふた⑦をよく洗う

- 6 活性炭⑨をネットに入れたまま、水できれいにもみ洗いする



活性炭の洗浄

- 7 フィルタータンク⑪にエアー抜き排水パイプ⑧を差し込み、
新しいフィルター⑨とフィルターキャップ⑩を取り付けてセットする

- 8 ドレンバルブ④を閉めて、フィルタータンク⑪と活性炭タンク⑤に水を張ってから、
パッキン⑥とフィルタータンクと活性炭タンクのふた⑦をしっかりと固定する ※1

- 9 本体横の循環配管バルブ(往・戻)③を開く

- 10 本体の電源ブレーカー②を【入】にする

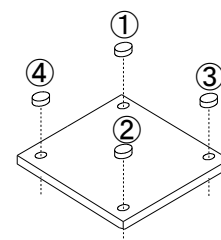
- 11 コントローラーの電源ボタンを押す

- 12 正常に運転する事を確認する

※予約運転時間以外は、24時間運転ボタンを押して運転確認をしてください。

※1 フィルタータンクと活性炭タンクのふたの閉め方

対角線で順番にナットを締めつけてください。
※しっかりと固定されていないと水漏れの原因になります。



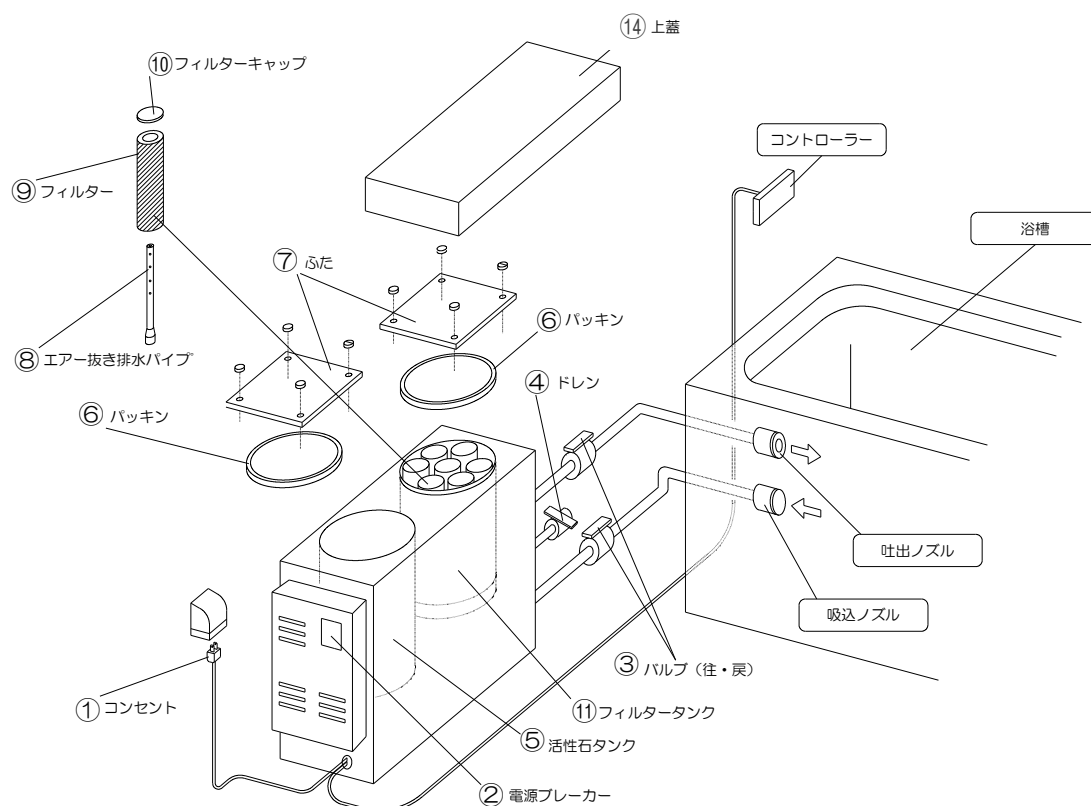
注 意

※フィルターは洗って再利用しないでください。

※フィルタータンク内にたまった空気が抜けるまでに若干時間がかかる場合があります。

※フィルター交換の際に、電装部品に水がかからないようにご注意ください。

浴槽水の交換をする場合

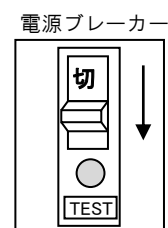


●浴槽水交換の目安

浴槽水に濁りや臭い、浴槽の底面にゴミや砂が発生した場合は、浴槽水の交換をお勧めします。
またフィルター交換やメンテナンス時には、浴槽水の交換が必要になる場合があります。

●浴槽水交換の作業手順

- 1 本体の電源ブレーカー②を【切】にする
- 2 本体横の循環配管バルブ(往・戻)③を2個閉める
- 3 浴槽水を抜き、浴槽の清掃を行う

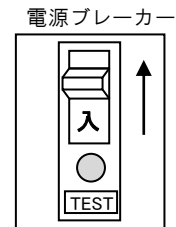


4 浴槽水面が吐出ノズルより上になるようにお湯を張る

※浴槽の排水栓がしっかりなされていることを確認してください。

5 本体横の循環配管バルブ(往・戻)③を開ける

6 本体の電源ブレーカー②を【入】にする



7 正常に運転する事を確認する

※予約運転時間以外は、24時間運転ボタンを押して運転確認をしてください。

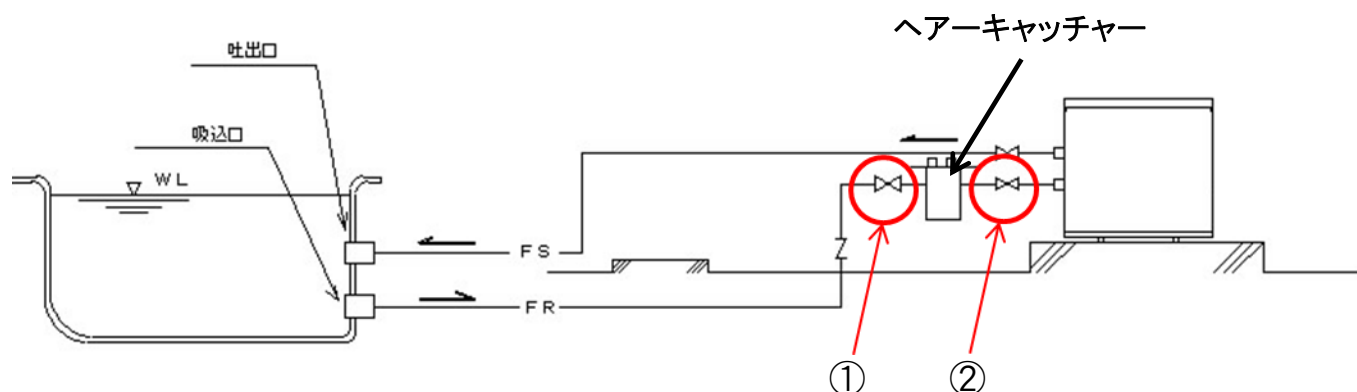
注 意

※配管内にたまった空気が抜けるまでに若干時間がかかる場合があります。

ヘアーキャッチャーの清掃方法

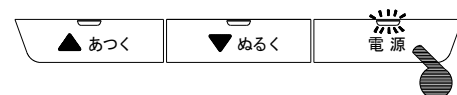
●ヘアーキャッチャーの清掃目安

ヘアーキャッチャーの清掃は、1日に1回以上行なってください。

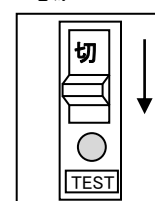


●ヘアーキャッチャーの清掃手順

1 コントローラーの電源ボタンを長押しして運転を停止させ、
本体の電源ブレーカーを【切】にする

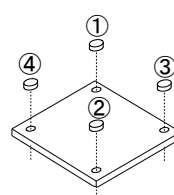
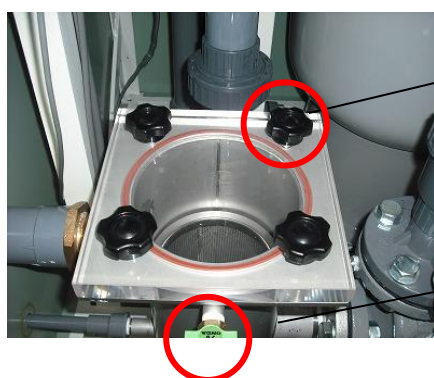


電源ブレーカー



2 ヘアーキャッチャー前後のバルブ①及び②を閉める

3 右図の要領でヘアーキャッチャーのナットを開ける



※ナットの開け方
対角線で順番にナットを開けてください。

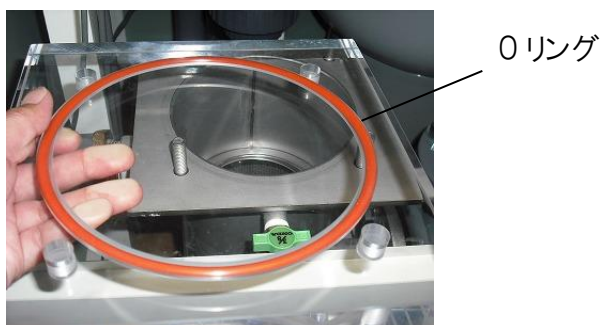
※アクリル板が開かない場合は、バルブを開け空気を入れてください。

4 アクリル板を外しバスケットの清掃を行う

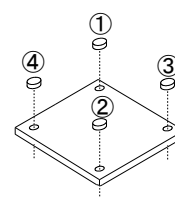


5 バスケットを元に戻し水を溜めた後、アクリル板の溝に O リングをはめ込み元に戻す。

※ヘアーキャッチャー内は満水にしてください。



6 右図の要領でヘアーキャッチャーのナットを取付ける

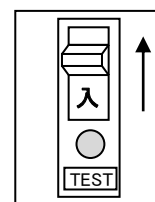


※ナットの閉め方
対角線で順番にナットを締めてください。

7 ヘアーキャッチャー前後のバルブ①及び②を開ける

8 本体の電源ブレーカーを『入』にした後、
コントローラーの『電源』ボタンを長押し、運転を開始させる

電源ブレーカー



注 意



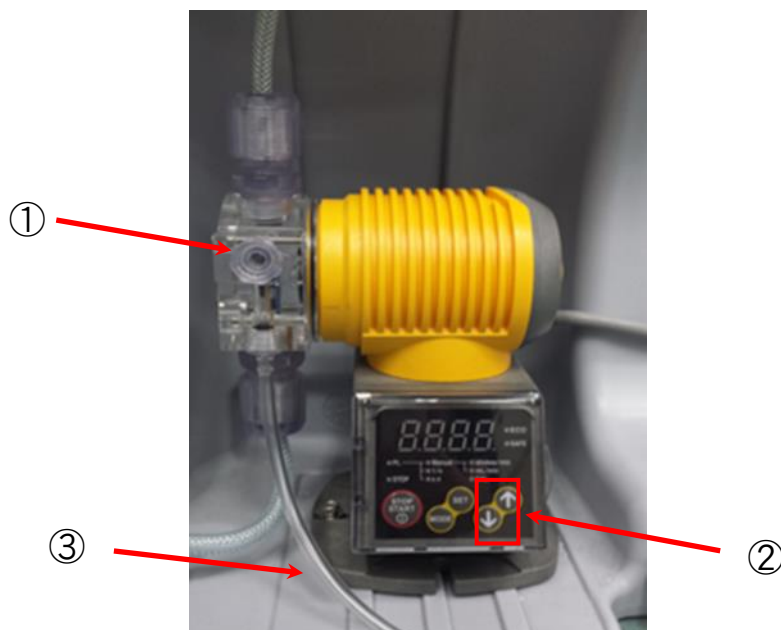
※配管内にたまった空気が抜けるまでに若干時間がかかる場合があります。

塩素薬注器エアーの抜き方

※浴槽水の塩素濃度が上がらない場合、薬注器がエアーを嚙んでいる可能性があります。

その際は、エアーを抜いてください。

※薬液を足すときにエアー抜きをすることをおすすめします。



- 1 ①のリングを 1.5 回転 緩める
- 2 ②の  を同時押しして強制運転。
「300」と表示され
- 3 ③のホースに液体が流れ始めたらエアー抜き完了
① リングを締めてください。

※エアー抜き作業時、③のホースから薬液が排水されますのでご注意ください。

※ ②の  を押すと、注入量の調整ができます。

残留塩素記録票

年

月

循環系統名：

日付	塩素濃度 (mg/L) 測定時刻 (:)	塩素濃度 (mg/L) 測定時刻 (:)	塩素濃度 (mg/L) 測定時刻 (:)	ヘアー キャッチャー 清掃	浴槽水 入替	備考 (塩素剤投入量、配管洗浄等)	測定者
1				有 ・ 無	有 ・ 無		
2				有 ・ 無	有 ・ 無		
3				有 ・ 無	有 ・ 無		
4				有 ・ 無	有 ・ 無		
5				有 ・ 無	有 ・ 無		
6				有 ・ 無	有 ・ 無		
7				有 ・ 無	有 ・ 無		
8				有 ・ 無	有 ・ 無		
9				有 ・ 無	有 ・ 無		
10				有 ・ 無	有 ・ 無		
11				有 ・ 無	有 ・ 無		
12				有 ・ 無	有 ・ 無		
13				有 ・ 無	有 ・ 無		
14				有 ・ 無	有 ・ 無		
15				有 ・ 無	有 ・ 無		
16				有 ・ 無	有 ・ 無		
17				有 ・ 無	有 ・ 無		
18				有 ・ 無	有 ・ 無		
19				有 ・ 無	有 ・ 無		
20				有 ・ 無	有 ・ 無		
21				有 ・ 無	有 ・ 無		
22				有 ・ 無	有 ・ 無		
23				有 ・ 無	有 ・ 無		
24				有 ・ 無	有 ・ 無		
25				有 ・ 無	有 ・ 無		
26				有 ・ 無	有 ・ 無		
27				有 ・ 無	有 ・ 無		
28				有 ・ 無	有 ・ 無		
29				有 ・ 無	有 ・ 無		
30				有 ・ 無	有 ・ 無		
31				有 ・ 無	有 ・ 無		

※1 測定は毎日同時刻に行なってください。

※2 浴槽水の交換は週 1 回以上、ヘアーキャッチャーの清掃は毎日行なってください。

※3 塩素濃度は 0.4～1.0mg/L の範囲内に濃度調整を行なってください。

※4 測定時 0mg/L の場合は、薬注装置のエア抜きを行い強制注入してください。

強制注入しても上がらない場合は、販売店にお問い合わせください。

※5 この用紙はコピーして利用し、3 年間保管願います。

故障かな・・・？

エラー表示について

リモコンの表示部に次のように表示された場合は、それぞれの方法で対処してください。対処をしても直らない場合は販売店に連絡してください。

異常表示	症 状	原 因	対処方法
E1 表示	運転停止	フィルタータンク内に水が不足しています	本体ブレーカーを【切】にし、フィルタータンクに水を入れてください
E2 表示	温度が上がらない	温度センサー不良 ヒーター部動作不良	温度センサーの点検 ※販売店にご相談ください
E3 表示	浴槽水が熱い	浴槽水が47℃以上になっている	浴槽に水を加え、フィルタータンク内のお湯を抜き、水を入れ45℃以下まで温度を下げてください
E4 表示	運転停止	浴槽水が50℃以上になっている	浴槽に水を加え、フィルタータンク内のお湯を抜き、水を入れて、45℃以下まで温度を下げてください
E5 表示	運転停止	電装内異常	電装内の点検 ※販売店にご相談ください
エラー表示なし	運転停止	浴槽水が58℃以上になっている	浴槽に水を加え、フィルタータンク内のお湯を抜き、水を入れて45℃以下まで温度を下げてください

浴槽水が濁る・臭う

原 因	対処方法
① フィルターの目詰まり ② オゾンの異常 ③ 配管内の汚れ	① フィルターの交換 ② オゾン系統の点検もしくは交換 ③ 配管洗浄を行ってください

仕様

商品名		Bathtime24 (ﾊﾞｽﾀｲﾑ24)							
区分		業務用 循環ろ過装置							
型式		KJO-800AH-B	KJO-2000AH-B	KJO-2000AEX-B	KJO-3500AH-B	KJO-3500AEX-B	KJO-5500AH-B	KJO-5500AEX-B	
ろ過能力		3.5m ³ /h	5.0m ³ /h	10.0m ³ /h			12.0m ³ /h		
該当浴槽容量(内湯)		～800L	～2000L	～3500L			～5500L		
適応浴槽水		上水道							
設置場所		屋外/屋内兼用							
ろ過方式		ﾌｲﾙﾀｰ・活性炭方式							
ろ過材	PPﾌｲﾙﾀｰ	500L×7本	500L×9本		500L×12本		500L×19本		
	活性炭	17.5kg	28.0kg		33.0kg		50.0kg		
電源		三相200V							
ﾀﾝｸ材質		SUS304							
運転電流 (50Hz/60Hz)	三相200V	8.6A/8.5A	15.1A/14.9A	3.6A/3.4A	22.5A/22.4A	5.1A/5.0A	43.4A/43.3A	8.7A/8.6A	
	単相100V	—							
ろ過ﾊﾟﾝﾌﾟ (50Hz/60Hz)	出力	0.25kW	0.4kW		0.75kW		1.5kW		
	全揚程	10.0m/9.5m	13.5m/13.0m		14.5m/14.0m		20.0m/21.0m		
	吐出量	58L/min	83L/min		166L/min		200L/min		
	材質	FC製 渦巻きﾊﾟﾝﾌﾟ							
保温方式	種類	電気ﾋｰﾀｰ(Ni)	電気ﾋｰﾀｰ(Ni)	熱交換器(SUS304)	電気ﾋｰﾀｰ(Ni)	熱交換器(SUS304)	電気ﾋｰﾀｰ(Ni)	熱交換器(SUS304)	
	容量	2.0kW	4.0kW	19.7kW	6.0kW	34.7kW	12.0kW	61.2kW	
殺菌装置	ｵｻﾞﾝ処理	ｵｻﾞﾝ発生器							
	次亜塩素	ｵｻﾞﾝｼｮﾝ(自動薬注装置)							
外装		塩化ﾋﾞﾆﾙ鋼板							
循環接続口径(吸込/吐出)		32A/32A(HIｿｹｯﾄ)			40A/40A(HIｿｹｯﾄ)		50A/50A(HIｿｹｯﾄ)		
熱源接続口径(入/出)		—		20A/20A(SUSﾅｼﾞ)	—		25A/25A(SUSﾅｼﾞ)	—	32A/32A(SUSﾅｼﾞ)
ｼﾞｪｯﾄ配管接続口径		13A(TSｿｹｯﾄ)					20A(TSｿｹｯﾄ)		
ﾄﾞﾚﾝ配管接続口径		32A(HIｿｹｯﾄ)			40A(HIｿｹｯﾄ)				
給水配管接続口径		—							
ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ(逆洗浄)接続口径		—							
本体外形寸法(mm)		850W×300D×800H	995W×410D×830H	969W×550D×828H	1422W×520D×825H		1510W×580D×840H		
本体重量(運転重量)		57kg(94kg)	89kg(131kg)	94kg(136kg)	126kg(179kg)	131kg(184kg)	153kg(212kg)	161kg(221kg)	
騒音値		46dB	48dB		53dB		60dB		
設計耐圧		0.15MPa	0.15MPa		0.28MPa		0.28MPa		
制御		専用ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ(温度制御・週間ﾀｲﾑｰ・薬注器制御・異常表示)							
安全装置		漏電・空転防止・高温異常・ﾊﾟﾝﾌﾟ 異常							
付属品	ﾉｽﾞﾙ(吐出)	ｵｻﾞﾝｼｮﾝ							
	ﾉｽﾞﾙ(吸込)	ｵｻﾞﾝｼｮﾝ							
	その他	専用ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ・活性炭							
ｵﾌﾞｼｮﾝ		吐出/吸込金物・L型ﾉｽﾞﾙ・吸着ﾉｽﾞﾙ・薬注装置・ヘアキャッチャー・補給水ユニット・補給水制御盤・水位センサー・ﾊﾟﾝﾌﾟ UP・SUSﾊﾟﾝﾌﾟ・ﾋｰﾀｰUP・SUSﾋｰﾀｰ・ﾅｲﾅｲﾄﾞﾋｰﾀｰ・耐塩塗装							

※平成31年1月18日現在:製品仕様及び数値は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

定期点検のお勧め

本製品は、末永く安心してお使いいただくために浴水衛生管理(定期的な消耗品の交換、安全総点検、水質検査、配管洗浄等)が必要になります。

定期的なメンテナンスは、偶発的な故障を最小限に抑え、経年劣化までの部品の寿命を延ばすことができます。

また、製品につきましては、浴水衛生管理の指導等サポートもさせていただきますので、安心してご利用いただくことができます。

【バスタイム 24(業務用) 浴水衛生管理要綱について】

※厚生労働省指導『循環式浴槽におけるレジオネラ症防止対策マニュアル』(健衛発第 95 号平成 13 年 9 月 11 日)を元に内容を抜粋しまとめています。

1) 日常の浴水衛生管理

浴槽水の遊離残留塩素濃度を 0.4~1.0mg/L 程度(自主基準)を保つよう塩素投入量の調整、遊離塩素濃度の測定、記録保持をお願い致します。

項 目	回 数	備 考
塩素錠剤・顆粒を直接浴槽に投入する方法	毎日塩素剤を直接浴槽に投入し、2 時間後に遊離残留塩素濃度を測定し記録	【特長】 安価。 浴槽に投入する手間が掛る。 遊離残留塩素濃度の調整が難しい(投入量の調整等)。
自動薬液注入器によりろ過系統配管へ自動注入する方法	毎日同時刻に遊離残留塩素濃度を測定し記録	【特長】 浴槽に直接塩素剤を投入する手間が掛らない。 遊離残留塩素濃度の調整が比較的簡単。 日常点検(薬液残量、エアー抜き作業)が必要 専門業者による定期的な点検が必要。

※次ページに続きます。

2)その他の浴水衛生管理

項 目	回 数	備 考
浴槽水の換水	1 週間に 1 回以上	浴槽水の交換と浴槽の洗浄を実施。
ヘアーキャッチャー内の清掃	毎日清掃	
フィルター交換	2 回以上/年(推奨)	使用機種・人数に応じて、回数変動する。
活性石の洗浄	2 回以上/年(推奨)	フィルター交換と併せて実施。
ろ材の確認、機器の動作確認、塩素等の殺菌装置の点検等	2 回以上/年(推奨)	フィルター交換と併せて、専門業者による定期的な点検が必要。
ろ過装置、及びろ過系統配管内の消毒(バイオフィルム除去)	1 回/年以上(推奨)	薬剤は保有水量に対して過酸化水素濃度が約 2%になるよう薬液を投入し洗浄。 劇薬のため専門業者による作業が必要。
水質検査:公衆浴場法検査	毎日完全換水型(塩素殺菌実施):1 回以上/年 連日使用型(塩素殺菌実施):2 回以上/年 塩素殺菌以外の殺菌装置で実施:4 回以上/年	検査 4 項目 レジオネラ属菌・大腸菌・過マンガン酸カリウム消費量・濁度
保守メンテナンス等の作業書、遊離残留塩素の記録、水質検査結果等の記録	3 年以上保存	

定期メンテナンスの詳細につきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社にお問い合わせください。

※各都道府県の公布する条例・指針の内容も十分にご確認ください。

保証とアフターサービス

長期間(1 週間以上)使用しない場合

<1～2 週間使用しない場合>

コントローラーの温度設定の表示を『OF』にすると、ヒーターが作動せず経済的です。
保温はしますが、ろ過と殺菌は行います。(詳細は  12 ページ 保温停止)

<2 週間以上使用しない場合>

本体の電源ブレーカーを【切】にし、浴槽水も抜いておきます。ドレンバルブを開けてフィルターとエア
ー抜き排水パイプを抜いて、タンク内の水を抜いてください。停止及び復帰の手順は「浴槽水の交換
をする場合」を参照してください。(詳細は  24 ページ 浴槽水の交換をする場合)
フィルター及び活性石が汚れている場合はフィルターの交換及び活性石の洗浄を行なってください。
(詳細は  22 ページ フィルターの交換方法と活性石の洗浄方法)

1 年間の保証期間

本製品は、弊社の厳密な製品検査に合格したのですが、万が一取り付けの日から1年以内に故障した場合は、無料で修理いたします。但し、使用上の誤り及び不当な修理、改造による故障等、またフィルターなどの消耗品は、期間内でも有料になります。

詳しくは保証書修理規定を確認し、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

保証期間内修理依頼には保証書の提示が必要になります。本体と同送している保証書の必要事項を記入の上、販売店にお渡しください。提示が無い場合は、保証対象外となる場合があります。

保証期間が過ぎたら

定期保守契約をお勧めいたします。

定期的なメンテナンスを行わないで使用すると思わぬ事故の元になります。

保証期間が過ぎても、責任をもってアフターケアをいたしますので、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

【メモ欄】

販売店(購入先): _____

工事(設置)業者: _____

設置日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

製品型式: _____ 製造番号: _____

【メモ欄】

【メモ欄】

【メモ欄】

製品改良のため、予告なく仕様その他を変更する事があります。



 0120-2641-24

技 術 〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-15-10 TEL:048-668-1126

営 業 〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-15-10 TEL:048-653-2641

本 社 〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-15-10 TEL:048-665-7733

生 産 〒949-8313 新潟県中魚沼郡津南町秋成 4626-1 TEL:025-765-4881

URL: <http://www.science-inc.jp>

Rev.005
2021.01